

各地の状況

北海道



北海道の景況は、輸出が弱含んだものの、設備投資が持ち直し、観光が回復に向けた動きとなるなど、緩やかな持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が減少したものの、インバウンド需要の回復から大型小売店販売が増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、貸家が減少したものの、持家、分譲住宅が増加するなど、足許増加。設備投資は、観光客受入態勢強化投資や市街地再開発投資がみられるなど、持ち直し。公共工事は、市町村が増加したものの、国、独立行政法人等、道が減少するなど、足許減少。輸出は、船舶が増加したものの、自動車部分品や有機化合物が減少するなど、弱含み。

生産活動は、窯業・土石製品、鉄鋼が減少したものの、食料品、金属製品が増加するなど、底離れの動き。観光は、地震の影響が解消し、入込客が増加するなど、回復に向けた動き。雇用は、有効求人倍率が上昇するなど、回復。

先行きは、緩やかな持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢

(注) 景況判断の文言は、会員銀行からの報告をもとに当協会で行きまとめたもの。